
秋の香り

MMR

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

秋の香り

【Nコード】

N09460

【作者名】

MMR

【あらすじ】

秋の香りはいい香り。突然そんな話を切り出したのには理由があるのです。

「秋の香りっていい感じだよな」

「そうなの？」

「俺の心をぐつとつかんで離さないというか……だ、だから一番好きなんだぞ。ずっと秋のままでいてほしい」

「ふーん……そうなんだ」

「それだけかよ。お前はとうなんだよ」

「わたしは春かな。切ない気持ちになるけどいいって思う」

「おお、俺たち両想いだっただな！」

「はあ！？ 何言ってるのよ、ハル！」

「いや、アキが好きって言ったらお前もハルが好きだと」

「勘違いするなー！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0946o/>

秋の香り

2010年10月10日07時18分発行